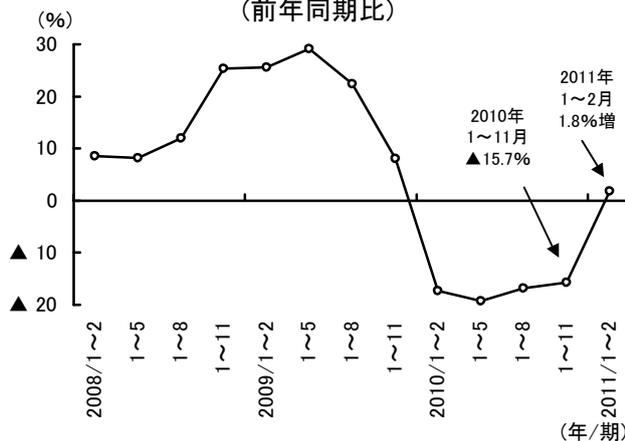


中国の加工型産業に赤字拡大の兆し

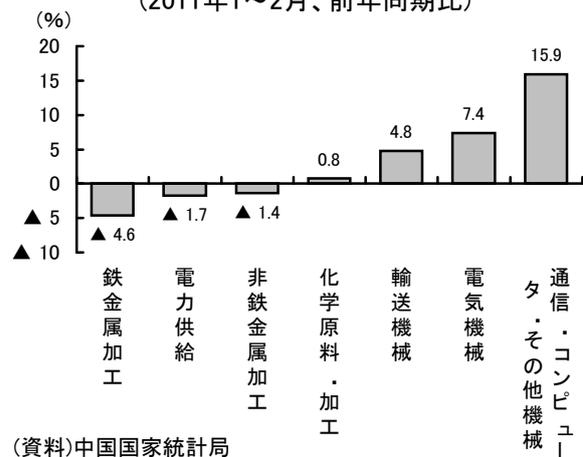
- (1) 中国の赤字企業数に増加の兆し。工業企業(含む鉱業、製造業、電力・ガス・水道業)の赤字企業数は2011年1～2月に前年同期比1.8%増と、2010年1～11月期の同▲15.7%からプラスに転じた(図表1)。業種別にみると、通信・コンピュータ・その他機械同15.9%増、電気機械同7.4%増、輸送機械同4.8%増と、加工型産業の赤字転換が顕著(図表2)。
- (2) この主因は原材料価格と名目賃金の上昇。新興国の成長を背景に、素材全般の価格に上昇圧力。例えば、電線などに用いられる銅の卸売価格は2011年1～3月期に前年同期比22.2%上昇(図表3)。都市部の1人あたり平均賃金も同14.7%上昇。コスト負担が拡大。
- (3) 一方、加工型産業の販売価格は、激しい企業間競争により引き上げが困難。液晶テレビの小売価格は低下傾向が続き、2011年1～3月期に前年同期比▲8.1%低下(図表4)。この結果、競争力の弱い加工型産業の利益が圧迫。
- (4) 今後、原材料価格や名目賃金の上昇が続くと予想されるだけに、加工型産業分野で赤字企業が増加するリスク。

(図表1) 赤字企業数の推移
(前年同期比)



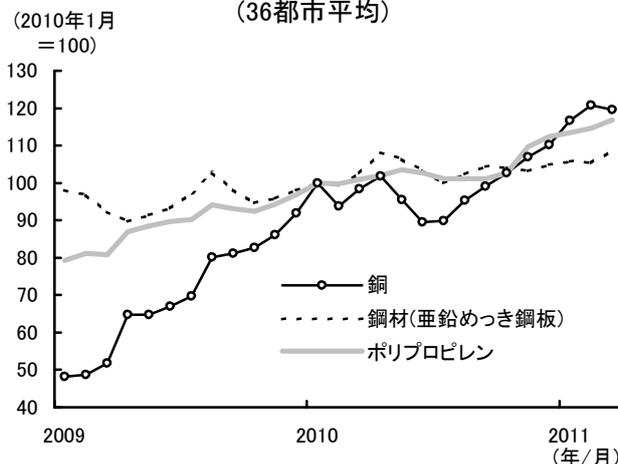
(資料)中国国家统计局
(注)売上高2,000万元以上の工業企業30万5,790社のうち、2011年1～2月に赤字となったのは前年同期比1.8%増の4万8,522社。

(図表2) 業種別赤字企業数の増減
(2011年1～2月、前年同期比)



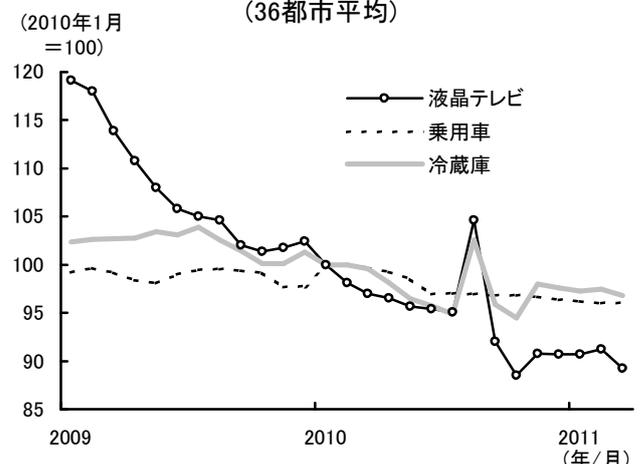
(資料)中国国家统计局
(注)売上高2,000万元以上の企業。

(図表3) 品目別卸売価格の推移
(36都市平均)



(資料)中国国家発展改革委員会をもとに日本総研作成

(図表4) 品目別小売価格の推移
(36都市平均)



(資料)中国国家発展改革委員会をもとに日本総研作成